

## ミスミグループ本社 2020年3月期 第3四半期 連結業績

～世界貿易不況継続の影響で製造業が低迷し減収減益、  
持続成長に不可欠な投資を厳選し継続実行～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2020年3月期 第3四半期累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減率
売上高	249,719	235,786	-5.6%
のれん等償却前 営業利益 ※	23,156	18,564	-19.8%
営業利益	22,694	18,109	-20.2%
純利益	16,216	12,919	-20.3%
1株当たり純利益	57.23円	45.54円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

### <2020年3月期第3四半期累計期間の連結業績ハイライト>

#### 1. 連結売上高は対前年同期比 5.6%減収、今後の需要動向を踏まえ持続成長に不可欠な投資についてはテーマを厳選し実行

- 当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じて低調に推移しました。中国などでは米中貿易摩擦の長期化に伴い製造業の設備投資への抑制が続いていることに加え、主要国における自動車関連の需要低迷なども継続しました。また、日本においては輸出環境の弱含みなどにより製造業全般は減速が継続し、生産用機械、自動車関連分野に影響が見られました。
- こうした環境の中、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。当第3四半期においては、世界で進化する「デジタルものづくり」に向けた事業モデルの革新において、テーマを厳選しつつ取り組みました。基幹システムのクラウド化などによってIT基盤を強化し、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。しかしながら売上高、利益ともに製造業の設備投資需要低迷が継続したことにより、前年比減少となりました。
- この結果、連結売上高は2,357億円、前年同期比5.6%（現地通貨ベース3.9%）の減収となりました。利益面につきましては、売上減による収益の減少、および持続成長に不可欠な先行投資を厳選しつつも継続したことなどにより、営業利益は181億円（前年同期比20.2%減）、経常利益は176億円（前年同期比22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は129億円（前年同期比20.3%減）となりました。

## 2. グローバルで製造業の需要低迷が継続し、各セグメントで減収

- 2020年3月期第3四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	82,319	<b>74,560</b>	-9.4%	-7.6%
金型部品事業	57,758	<b>55,408</b>	-4.1%	-1.8%
VONA事業	109,642	<b>105,818</b>	-3.5%	-2.2%
合計	249,719	<b>235,786</b>	-5.6%	-3.9%

- FA事業は、米州を除く主要地域、とりわけ日本の設備投資需要低迷が続いたことにより、前年同期比9.4%の減収となりました。
- 金型部品事業は、東南アジアにおける販売活動が概ね堅調だったものの、中国、欧州などの地域での自動車関連の市況低迷により、前年同期比4.1%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化や積極的な販売拡大施策により、米州や東南アジアでは売上が伸長したものの中国と日本の減速を補えず、前年同期比3.5%の減収となりました。

## 3. 米州は前年比で増収確保、他地域は足元で一部持ち直す動きも総じて低調に推移

- 2020年3月期第3四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	130,939	<b>125,329</b>	-4.3%	—
海外	118,780	<b>110,457</b>	-7.0%	-3.6%
中国	44,718	<b>39,620</b>	-11.4%	-6.1%
アジア	36,670	<b>33,689</b>	-8.1%	-5.6%
アメリカ	20,442	<b>20,954</b>	+2.5%	+3.0%
ヨーロッパ	12,773	<b>11,977</b>	-6.2%	-1.3%
その他	4,174	<b>4,215</b>	+1.0%	+1.9%

- 日本では、FA・VONAを中心に製造業の需要低迷の影響で、前年同期比4.3%の減収となりました。
- 海外では、米州は引き続き増収を確保しました。他地域では足元で一部持ち直す動きがみられたものの総じて低調に推移し、前年同期比7.0%の減収となりました。

#### 4. 2020年3月期連結業績予想は従来どおり

- 2020年3月期の通期連結業績予想については、2019年10月28日公表の前回予想時点からの変更はありません。

2020年3月期 連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	326,500	27,700	27,300	20,100	70.86
前期実績	331,936	31,874	31,815	24,034	84.80
増減率（%）	-1.6%	-13.1%	-14.2%	-16.4%	—

#### 【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2020年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2020年3月期第3四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ  株式会社ミスミグループ本社  コーポレート・リレーション室 IR担当  Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014  mail : cc@misumi.co.jp</p>
---